

# 令和4年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名

加古川市立平岡南幼稚園

## 1 教育目標

ゆたかな感性をもち、いきいきと遊ぶ子ども –身近な自然や、身近な人との関わりの中で–

## 2 基本方針

- ・幼児期にふさわしい生活を通して、温かい仲間関係を育てる。
- ・健やかな体とやり遂げようとする心を育てる。
- ・道徳性、規範意識の芽を育てる。
- ・教師の研修を積み、指導力の向上を図る。
- ・家庭・地域との連携を深め、開かれた幼稚園づくりを推進する。
- ・幼児の安全を確保し、安全教育に努める。

## 3 指導目標

- (1)あたたかく思いやりのある子 (2)豊かに感じ素直に表現する子  
 (3)自信をもって自ら活動する子 (4)相手の思いを受け入れ、共に活動できる子  
 (5)基本的な習慣を身に付け、はじめのある子

### 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
* 基本的な生活習慣を身に付ける。	○進んであいさつをする。 ○衣服の着脱、手洗い、うがいなど自分でする。 ○食事の好き嫌いをなくし、食事のマナーを知る。 ○用便の仕方を知る。	B	・ユニットの活動としてあいさつ運動の取り組みを継続して行っていることで、積極的に挨拶ができる園児が増えてきている。今後も継続していきたい。 ・3年保育となり、発達年齢に応じた生活習慣が身につく指導が必要と感じるが個人差も大きく、家庭との連携を図りながら自立支援を支えていく。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
・来園した際、園児が元気で挨拶してくれる様子から習慣付いていることがよくわかる。引き続き、継続して指導してほしい。	A

<p>*物事に意欲に取り組み最後までやり遂げる。</p>	<p>○夢中になって力いっぱい元気に遊ぶ。 ○興味や関心をもち、主体的に物事にに関わり活動する。 ○苦手なことにも粘り強く挑戦する。 (竹馬・パカポコ、縄跳び・鉄棒・こま回し等)</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動前からできないと諦めたり、消極的であったりする姿が見られ、主体的に遊び込む環境づくりを心がけ子ども達の意欲を高めることにつなげてきた。</li> <li>・意欲や自信につながる言葉かけや主体的に活動ができる援助や環境構成を職員間でも連携を図りながら育ちを支えていく。</li> <li>・発達に応じた遊びの内容や環境を整え、幼児一人一人に合った課題をスモールステップで進めていくことで自信や意欲につなげていく。</li> <li>・個人差が大きく、気持ちが続きにくい幼児もおり、一人一人に適した関わり方が必要である。</li> <li>・子どもへの成果は感じるが保護者の理解については遊びを通しての学びや育ちについての啓発の仕方を見直し、家庭との連携についても考慮していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でも兄弟や保護者と一緒に縄跳びで遊ぶ姿が見られ、園で挑戦する活動に取り組んでいることが家庭でも継続できていることがわかる。</li> <li>・園での学びはなかなか目に見えないものであり、評価しにくいところもあるが、遊びから学んでいる様子を具体的に伝え、園教育で大切にしていることを家庭、地域、小・中学校へも知らせていくことが必要と考える。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>*感じたこと考えたことを素直に表現する。</p>	<p>○様々な人や身近な自然との関わりから、自分の気持ちを素直に表現する。 ○お互いの話を聞き合い、伝え合う喜びを味わう。 ○命の大切さを感じ、思いやりの気持ちをもつ。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に興味をもったり、季節ならではの遊びを楽しみ心を弾ませる体験ができるように環境を整えていく。</li> <li>・身近な自然(植物、生き物)に関わり感じたことや気付いたことを教師や友達に伝え合う姿を大切に育てていく。</li> <li>・幼児が興味をもって様々な表現活動に自信をもって取り組めるよう心を動かす体験を取り入れた保育を心がける。</li> <li>・教師自身の言葉かけや関わる姿勢からも子ども達は学んでいることを自覚し、命の大切さや相手を思いやる心を育んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と園児が共に四季を感じながら活動できている環境が良い。自然に興味もてる環境づくりに取り組んでほしい。特に幼少期に畑や土に触れる機会は大切だと感じる。今後も園活動に取り入れて活動してほしい。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>*健康と安全に気をつけて生活する。</p>	<p>○安全な生活の仕方を身に付ける。 (交通安全・避難訓練・防犯訓練) ○集団生活の決まりや約束を守る。 ○新しい生活様式を取り入れ、進んで感染防止を行う。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式が習慣付き、進んで手洗い、うがいや手指消毒を行うことができるようになってきている。</li> <li>・職員にとっても感染症対策についての対応の仕方がわかり、徹底した感染症対策を取りながら感染を広げることなく行事等予定通り行うことができた。</li> <li>今後の感染症対策にも配慮し、家庭と連携を図りながら適切な対応を心がけ、安心安全な園生活ができるよう努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策が浸透している。</li> <li>・生活のルールが守られ、きちんと指導されている。</li> </ul>	<p>A</p>

